

取扱説明書

このたびは、~~ABIO~~ろ過器をお求めいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書を、ご使用前に必ずお読みになり、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- このろ過器は寒冷地仕様ではありません。

安全にお使いいただくためのご注意

お使いになる人や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

注意 事項は、状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分して説明しています。

! この表示は、必ず守って実行していただく「強制」内容です。

⊘ この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

警告

水道水の飲用基準に適合した水でご使用ください。水道水以外の水で病原菌等が混入していると、それが原因で健康障害を生じるおそれがあります。

注意 安全にろ過器をお使いいただくために。

新しいろ過器(カートリッジ)をお使いいただくときは、気泡および濁りが消えるまで3分間放流してください。また、その間に水漏れがないことを確認してください。

毎日のご使用開始時には、必ず20秒間放流してください。(全機種共通)

2日以上使用しなかった時は、2分間放流してください。(全機種共通)

断水等の後は赤水が出ることがありますので、ろ過器以外の給水栓から放流してください。カートリッジの交換時期が大幅に早まることがあります。

カートリッジは消耗品です。必ず定期的(最長12カ月)に交換してください。

このろ過器は寒冷地仕様ではありません。凍結が予測される地域では、お使いにならないください。

汲み置きしないでください。処理水は塩素を取り除かれていますので、滅菌作用がなくなっています。

注意 水漏れ事故は、ご使用になる方だけでなく、近隣にも多大な損害・迷惑を与えます。水漏れ等による事故を避けるために、下記の項目を必ずお守りください。

水漏れ等がないか、接続部やろ過器を1ヶ月に1度、点検してください。

ろ過器を長期間お使いにならないときは、止水栓を閉じてください。

5℃以下の冷水をろ過器に通さないでください。

35℃以上の温水をろ過器に通さないでください。

水圧が0.75MPaより高い所では、お使いにならないでください。ご使用する場合は、ろ過器より元の配管に減圧弁を取付けてご使用ください。

高熱を発する器具を近づけないでください。また、高熱を発する機器の近くに設置しないでください。

強い衝撃を与えないでください。

清掃する際には、洗剤やシンナー・ベンジンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。

お客様ご自身での分解・修理はしないでください。

専用カートリッジ以外は取付けしないでください。

養魚用にはご使用にならないでください。

ABIOシリーズの仕様

種類	コーヒーマシン専用ろ過器		製氷機専用ろ過器		
	品名・型式	LH-15	LH-30	RHS-15G	RHS-30G
ろ過流量 (水圧0.1MPa 水温20℃条件下)	5L/min				
ろ材	陽イオン交換樹脂 抗菌粒状活性炭 抗菌繊維状活性炭		陽イオン交換樹脂 抗菌粒状活性炭 抗菌繊維状活性炭		
除去対象物質	残留塩素・一部の硬度成分				
採水量	10,000L*	20,000L*	10,000L*	20,000L*	25,000L*
調整バルブ	水質により低・中・高バルブを調整				
常用使用圧力	0.75MPa				
耐圧試験	1.75MPa(静止圧1分間適合)				
配管接続口径	G1/2				
毎朝放流時間	20秒				

*採水量は、低バルブ使用時の場合の理論値を示しています。

カートリッジの交換時期について

ろ材(カートリッジ)は消耗品です。使用限界内に必ず交換してください。

機種(型式)	カートリッジ使用限界
LH-15	12ヶ月または10,000L
LH-30	12ヶ月または20,000L
RHS-15G	12ヶ月または10,000L
RHS-30G	12ヶ月または20,000L
RHS-35G	12ヶ月または25,000L

注意 ろ過器のカートリッジは消耗品です。交換を行わず、使い続けると次のような事が起きる場合があります。

- ろ材部に除去成分が蓄積し、ろ過機能が無くなる。
- ろ材部の目詰まりや、ろ過器容器(本体)の劣化による水漏れ。

カートリッジ交換、または、ろ過器の取付け、取外しは、お買い上げの販売店、またはクリタック(株)に依頼してください。

異常が生じた時

異常が生じた場合、次の表により点検して適切な処置をしてください。

症状	原因	処置
新しいろ過器またはカートリッジ交換後、処理水が出ない。	止水栓が閉じている。	止水栓を全開にしてください。
	IN-OUTが逆付けになっている。	正しい接続方向になおしてください。 ※施行説明書を参照。
新しいカートリッジで処理水の吐水量が少ない。	止水栓が全開にされていない。	止水栓を全開にしてください。
	配管等の鉄サビ、ゴミ等がIN側ノズルにつまっている。	フレキ配管を取外して洗浄してください。
徐々に処理水の吐水量が少なくなった。	ろ材部の目詰まり。	お買い上げの販売店またはクリタック(株)へお問い合わせください。

カートリッジの交換方法

カートリッジの交換は、必ず下記の手順に従って行ってください。手順、接続を間違えますと、水漏れ、故障の原因となります。

- 交換時は、ろ過器やフレキ配管の滞留水を床にこぼさないようバケツ等で受けて作業してください。
- カートリッジに強い衝撃を与えないでください。
- 水漏れの原因になる為、カートリッジは絶対に分解しないでください。
- 専用カートリッジ以外は取付けしないでください。

① 止水栓を閉めてください。

② チョウネジをゆるめます。

③ 締め付けバンドを押しひろげ、外します。

④ 本体とキャップを取外します。

⑤ カートリッジを交換します。
●古いカートリッジを本体から取出し、新しいカートリッジをセットします。

⑥ 本体とキャップを取付けます。
●キャップノズルとカートリッジノズルの位置を合わせ、さしこみます。
●締め付けバンドを取付け、チョウネジをしっかりと締めてください。

⑦ 放水と水漏れチェックをしてください。
●給水栓を全開にしておいて、止水栓をゆっくり開きながら全開にしてください。ろ材(活性炭等)を水洗するため3分間放流してください。その後、給水栓を閉めた状態で、ろ過器および配管各部より水漏れがないか確認してください。

本体・カートリッジの廃棄について

●本体・カートリッジは、お客様の所有物です。地方自治体の条例に基づき廃棄してください。

水漏れが生じた場合は

症状	原因
接続部から水が漏れる。	接続部の取付けが不完全。
ろ過器から水が漏れる。	ろ過器本体の損傷。